

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス わくわくぶらす			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 15日		～	2025年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 15日		～	2025年 12月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	有資格者のスタッフが基準人員より多く配置されているため、より手厚く丁寧なサービス提供を行う事が可能です (保育士、児童指導員、教員免許保有者)	学習についてはお子さんの習熟度に合わせ、教材の中から自分で選択して取り組める環境を整備しています	学校との連携を充実させ、支援の統一を図ります。また、個別支援計画書の作成時に情報共有を行っていきます
2	ペアレントプログラム実施資格を持つ職員を配置しています	公開療育の日を設けご家族様に普段の様子をご覧頂き、場面に応じた有効な声かけのアドバイス等を行っています	・ペアレントプログラムの実施により家族支援の充実を図る ・ペアプロの情報発信を行い、ご家族や支援者に周知してまいります
3	放課後児童クラブやスポーツチーム、塾など地域の中に移行していく支援を大切にしています	お子さんの発達段階に合わせ、必要な時期に案内できるように情報収集を行っています	インクルージョンについては慎重な保護者様も多く、一人ひとりに応じたきめ細やかなご案内を心がけて行きます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者様の男女比に偏りがあり、現在は男児が多い傾向にあります。そのため遊びの内容が合わない場面も見られています	生活する中で意思決定の場面で尊重されるあまり、個々が満足する活動に偏っていると捉えています	・年齢や性別に関係なくみんなで楽しめる活動の情報収集を行い遊びの提供をします ・「一人ひとりがそのままの自分でいられる安心した心地よい居場所」づくりを整えていきます
2	戸建ての民家の為、段差や階段があります。車椅子の利用者様や下肢に障がいがある方には支援の工夫が必要だと捉えています	家庭的な雰囲気との反面、施設として不向きな環境は安全のための工夫を行っています	・利用者様に安心安全を提供するため、施設内の設備点検を定期的に継続して取り組みます ・視覚支援や構造化により、過ごしやすい環境を整備します ・安全管理の取り組みを徹底します
3	OT、STの専門スタッフや看護師スタッフの配置がございません。医療的ケアを必要とされる利用者様の受入れは現在行っておりません	より専門性の高い支援が求められている背景に見合った人材確保が課題と捉えています	作業療法などの専門的な知識を身に付けるために、スキルアップ研修の充実にも努めます